

## 2. 誘引物の管理 工サ場と隠れ場の除去

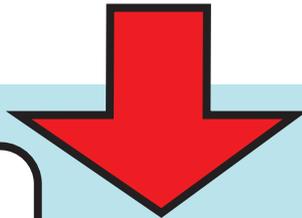


### 食物

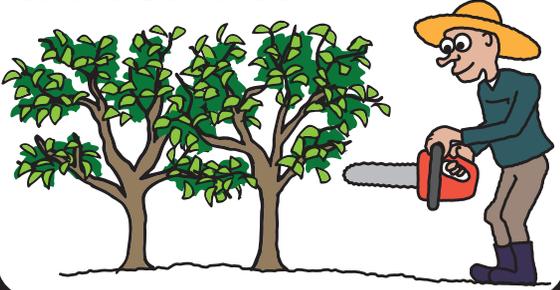
人間には  
価値がなくても

### 隠れ場

すぐに逃げ込める安心感



放棄果樹は伐採!



農作物残渣は囲う!



簡単に  
食べさせない

ざんさ  
農作物残渣は  
深めに埋める!

or



草藪を刈り払う!



身を隠せる場所をなくす



**!** 青草が生い茂るとニホンジカを誘引する要因となる  
特に冬季は、草刈りの時期を調整するなどの配慮が必要

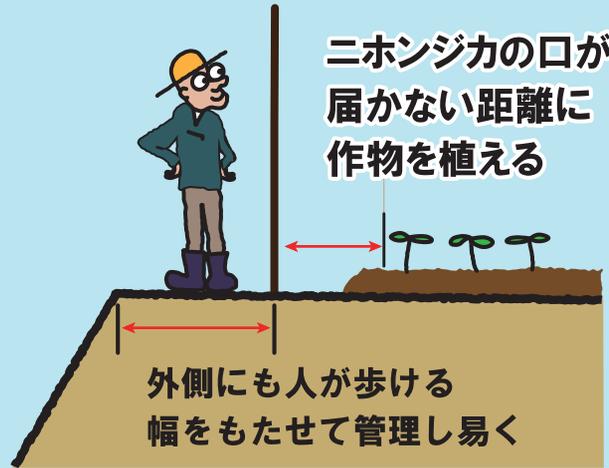
# 3. 柵で囲う 柵の設置方法

四方をすべて囲う  
(開口部があると侵入され易い)



柵

ニホンジカの口が届かない距離に  
作物を植える



外側にも人が歩ける  
幅をもたせて管理し易く

斜面のすぐ下や斜面中は  
上から飛び込み易くなる



○ 着地点が目線より下方



不安な要素を増やして  
飛び込みを抑制

○ 斜面から  
離して設置

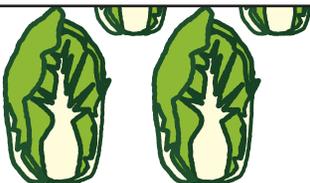
## ワイヤーメッシュ柵

線径(鉄線の直径)は4mm以上  
(イノシシもいる場合は5mm以上)

支柱は、ワイヤーメッシュの  
内側(圃場側)に設置

直径13mm以上の異型鉄筋を  
30cm以上打ち込み、必要に  
応じて補強

メッシュの交差するところで  
たすきがけに結束



メッシュの下部にすき間が  
できないよう地面に足で踏み込む

柵の  
高さは  
2m以上



侵入路になる  
側溝や水路は  
またがない

メッシュの目合は15cm以下  
(イノシシもいる場合は10cm以下)

長所

見回り・点検頻度に係る  
労力は少ない

短所

設置費用が高い  
設置時に労力が必要

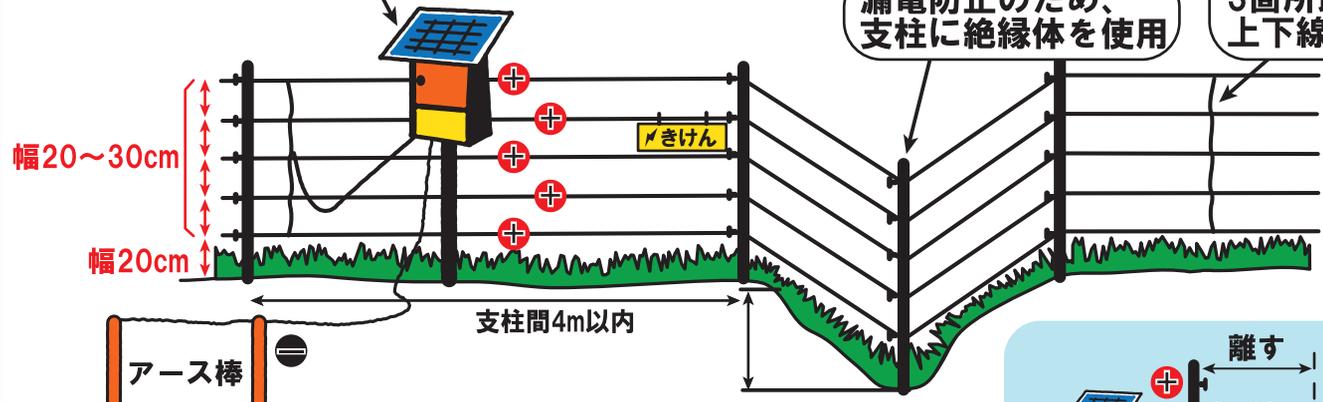
# 電気柵

自作品は危険！  
PSEマークの付いた製品を使用



漏電防止のため、  
支柱に絶縁体を使用

断線に備え、  
3箇所以上  
上下線を結線



アース棒は  
取扱説明書  
に従い設置

適正電圧は  
4,000V以上  
チェッカーで  
こまめに点検

高低差があるところ  
は支柱を増やし、  
通電線の高さの間隔  
を維持



アース棒から湿り気のある土を経由し、  
ニホンジカの体内を通り電線と感電させる  
コンクリートや舗装は通電しにくいので、  
柵は舗装から離して設置する

- 長所** 設置費用が安い  
設置しやすい
- 短所** 漏電防止の草刈りが必要  
頻繁に電圧のチェックが必要

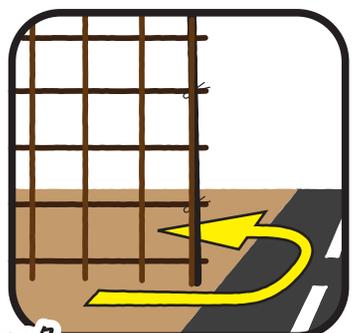
## その他にも...

- 危険を知らせる表示看板の設置
- 人への感電を防止するため、必ず電気柵用電源装置を使用
- 家庭のコンセントから電気を供給する場合は、漏電遮断器を設置
- 容易に操作できる箇所に電源からの開閉スイッチを設置
- 通電させない時期は柵線を撤去

# 柵のチェックポイント



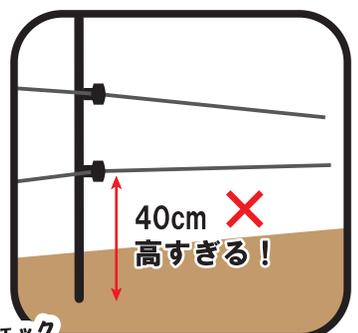
チェック  
✓ すき間がないか点検  
(押し広げて侵入される)



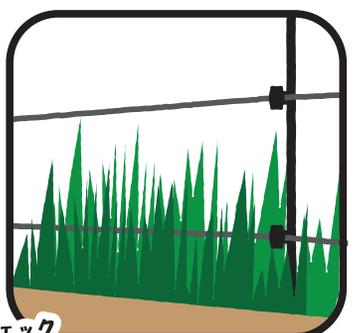
チェック  
✓ 全周を囲う  
(端があると回り込まれる)



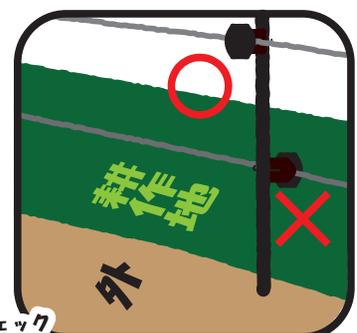
チェック  
✓ 強度不足の資材は不可  
(変形して侵入の原因に)



チェック  
✓ 下段は約 20cm  
(敏感な鼻が感電する高さに)



チェック  
✓ 柵周りの草刈りを徹底  
(草などが当たると電圧が低下)



チェック  
✓ 碍子(がいし)は外側  
(内側だと支柱が倒される)

## 4. 点検と補修

「柵を設置したら終わり」ではありません！

対策をただけでは効果は維持できません。頻繁に見回ることによって効果を持続させることができます。

### エサを与えていないか？

- 放棄果樹がないか →  収穫する又は思い切って伐採する
- 二番穂が育っていないか →  刈り取る又はすき込む
- 農作物残渣<sup>ざんさ</sup>は食べられていないか →  食べられないように囲う又は深く埋める

### 隠れ場を与えていないか？

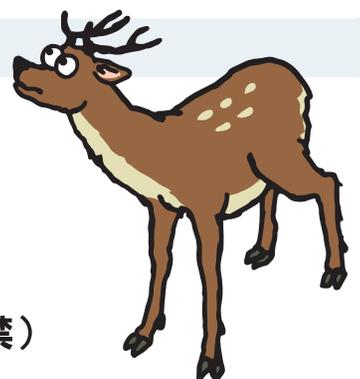
- 耕作地周辺の藪が茂っていないか →  刈り払う
- 耕作地以外の山際や耕作放棄地の藪が茂っていないか →  見通しを良くして柵の不具合を早期発見

### 柵の効果は損なわれていないか？

- 柵が破損していないか  
特に、台風や大雪の後は倒木による破損がないか →  すぐ補修 **侵入路だと学習させない**  
**！** 容易に通れると認識されてしまうと執着され、何度も壊される
- 潜り込む隙間は開けられていないか →  事前に柵周辺の倒れそうな樹木を除去
- 潜り込む隙間は開けられていないか →  すぐ埋めて補強 **侵入路だと学習させない**
- 電気柵の電圧は低下していないか  
こまめに（毎週）チェック →  漏電箇所の対策や機材を適切な状態に  
**！** バッテリーが弱っていないかチェック
- 農閑期に電気柵を通電せずに放置していないか →  農閑期にも常に通電させる又は撤去する  
**！** 簡単に通過できることを学習されると効果がない

### その他…

- 見回りは柵の外からも、ニホンジカを目線でチェック
- 農閑期も見回りを継続して、人がいる気配を絶やさない
- 柵や林道のゲートの管理を徹底（昼夜活動するため、開放厳禁）



# かんたん！みんなでやれば、被害は減る！

## 獣害対策の5ヶ条

- その1 相手を知ろう
- その2 エサをなくそう
- その3 柵で囲おう
- その4 隠れ場、逃げ場をなくそう
- その5 こまめに集落を点検しよう



## 鳥獣被害対策のご相談は

最寄りの市町村、JAまたは下記の県の相談窓口へ

### 県の相談窓口

お問い合わせ先	管轄区域	電話番号
鳥獣対策・里山振興課		088-621-2451
徳島農業支援センター	徳島市、小松島市、勝浦町、上勝町、佐那河内村、石井町、神山町	088-626-8771
鳴門藍住農業支援センター	鳴門市、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町	088-692-2515
吉野川農業支援センター	吉野川市、阿波市	0883-26-3971
阿南農業支援センター	阿南市、那賀町	0884-24-4184
美波農業支援センター	牟岐町、美波町、海陽町	0884-74-7491
美馬農業支援センター	美馬市、つるぎ町	0883-53-2312
三好農業支援センター	三好市、東みよし町	0883-76-0691

「ニホンジカから田畑を守る！

ニホンジカ被害対策マニュアル ～ニホンジカに強い集落環境づくり～」

平成31年3月

企画・発行 徳島県 農山漁村振興課

製 作 株式会社 一成